

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

最初のISS構成要素打上げから1516日経過しました
第6次長期滞在クルーのISS滞在は49日経過しました

ISS動向

1月に入ってから、第6次滞在クルーはISSで行う船外活動の宇宙服や工具類の準備、作業手順の確認を行いました。船外活動は米国時間1月15日の予定で、昨年12月に取り付けられたP1トラスの冷却用ラジエータの固定装置取り外しや「ユニティ」結合部の清掃作業など、6時間半に及ぶ作業を実施する予定です。



船外活動の準備を行うペティ
宇宙飛行士(左)とブダ-リン
宇宙飛行士(右)

これからの予定(米国時間)

- ・2月2日 プログレス無人補給船の打上げ
(打上げ地: バイコナル宇宙基地、カザフスタン共和国)
- ・3月1日 スペースシャトル・アトランティス号打上げ(アメリカ)
(野口宇宙飛行士搭乗、船外活動でISSの姿勢制御装置を交換)

“今週のSTS-114/野口宇宙飛行士が参加するISS組立てミッション”

クルー紹介(その2)~コリンズ宇宙飛行士

STS-114ミッションで船長を務めるのはアイリーン・コリンズ宇宙飛行士です。アメリカ空軍出身の彼女は1995年2月のSTS-63ミッションで初飛行して以来、今回が4度目の飛行となります。また船長として飛行するのは1999年7月のSTS-93に次いで2回目です。今回のミッションではシャトルクルーが4人のため、野口宇宙飛行士が船外活動を行う際に船内でサポートするなど、シャトルの操縦の他にも様々な業務を行います。



STS-114シャトルクルー
(左端は野口宇宙飛行士、左から
2人目がコリンズ宇宙飛行士)

ミッション内容に関する詳しい情報は下記URLをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/ulf1/index.html>

“トピック”

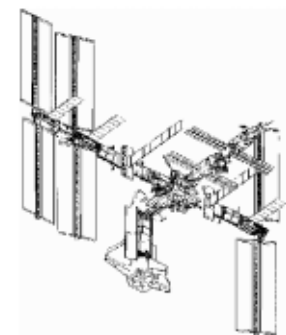
2003年もISSの組立が進みます

読者の皆様、あけましておめでとうございます。今年もISSの組立が進みます。今年最初の組立飛行は野口宇宙飛行士が搭乗するSTS-114ミッションです。その後年内に4回のスペースシャトルの飛行が行われ、トラスや太陽電池パネルの取り付け、クルーの交代が行われる予定です。

この「ISS・きぼうウィークリーニュース」も昨年の発行開始から2年目に入ります。本年も引き続きよろしくお願いいたします。

なお、これまで発行されたウィークリーニュースは下記URLでご覧になれます。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/weekly/index.html>



2003年末頃のISS

STS-107宇宙実験、打上げに向けて最終準備中

米国時間1月16日打上げに向けて、米国フロリダ州ケネディ宇宙センター(KSC)ではスペースシャトル・コロンビア号に搭載するタンパク質実験試料の最終準備が進められています。

実験研究者を含むNASA関係者は1月10日にKSCへ到着し、打上げ準備作業を行っています。現在のところ、作業は順調に進められているとのことです。

STS-107ミッションに関するNASAの情報や実験準備の様子を下記URLでご覧になれます。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/education/sts107/index.html>



NASDAの全研究者による実験準備作業に関する打合せの様子
(ケネディ宇宙センター)

問い合わせ先: 宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 0298-68-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。